

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況
 ○対馬海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
5	学経	中嶋 武美	72	男	団体職員 (漁協長)	昭和42年4月～昭和46年3月 福岡電子工業大学電子工学部電子工学科(工学博士号取得) 昭和47年9月～平成9年7月 長崎県信用漁業協同組合連合会(25年間)組合員育成指導 平成3年7月～平成11年6月 同上 上対馬出張所所長就任 平成3年7月～平成11年6月 長崎県経営指導協会から経営指導員を委嘱 平成11年7月～ 旧網島漁業協同組合組合員取得～現豊玉町漁協組合員 平成25年7月～平成28年6月 豊玉町漁業協同組合代表監事 平成28年7月～平成31年2月 豊玉町漁業協同組合筆頭理事 平成31年3月～ 豊玉町漁業協同組合代表理事組合長 平成31年3月～ 山口県沖合底びき網漁業との交渉委員 令和元年7月～ 長崎県漁業協同組合連合会監事 令和元年7月～ 長崎県いか釣漁業協議会役員 令和2年1月～ 対馬市地域委員会(水産業成長産業化沿岸地域創出事業)副会長 平成31年3月～ 対馬市漁業協同組合会長監事 平成31年3月～ 対馬市いか釣漁業連絡協議会顧問 令和元年8月～ 対馬海区アラ縄漁業部会副会長	—	—	豊玉町漁業協同組合	中嶋 武美	—	—	—	昭和47年、県信漁連に入会後、協同組合法、水協法、経営学等を得、平成3年県経営指導協会から経営指導員を委託され、県全域漁協の経営や組合員婦人部の育成指導に取り組みなど知識や指導経験等は豊富である。平成11年信漁連退職後は豊玉町漁協組合員となり、イカ釣・採介藻等の漁業経営を始め、豊玉町漁協役員2期(6年)を経て、平成31年に組合長に就任。県漁連監事を始め、漁業関係10協議団体、地域関係7協議団体の役員を歴任する等、地域振興や教育指導面においても顕著なものがある。 当漁協としても、知識、経験、指導力等を総合的に評価した結果、学識経験委員として適任であると認め推薦致します。(令和2年11月6日開催第5回理事会承認)
6	学経	神田 満男	69	男	団体職員 (漁協長)	昭和44年3月 長崎県立対馬高等学校卒業 昭和47年12月 上対馬町南部漁業協同組合に就職(勤務) 昭和56年4月～平成18年3月 同 参事として勤務 平成18年4月～平成19年3月 同 参事として勤務(信用担当理事兼務) 平成19年4月 上対馬町琴漁協と上対馬町南部漁協新設合併 平成19年4月～平成23年3月 上対馬南漁業協同組合参事として勤務 平成23年6月～平成29年6月 上対馬南漁業協同組合筆頭理事 平成29年6月～ 上対馬南漁業協同組合代表理事組合長 平成29年6月～ 公益財団法人 対馬栽培漁業振興公社理事 平成29年6月～ 一般財団法人 対馬地域商社評議員 平成30年6月～ 長崎県信用漁業協同組合連合会監事	—	—	上対馬南漁業協同組合	神田 満男	—	—	—	神田氏は、昭和47年から現在まで48年間協同組合一筋で、その間、漁協参事として30年、筆頭理事として6年・代表理事2期と要職を歴任し、水協法・漁業法は基本より長崎県漁業調整規則等水産に関する法令に精通し、組合員の指導に当たっています。 又、平成19年の上対馬町琴漁協と上対馬町南部漁協の漁協合併においても、中心的立場から、漁協合併を推進するなど、強力なリーダーシップを発揮し組合員の理解を得ています。 さらに、小中学校のPTA会長、区長、上対馬地区民生委員を歴任するなど、地域活動にも積極的に取り組んでおり、漁業調整委員にふさわしい人物であることから、当漁協として推薦するものです。
7	漁業者	船津 博也	73	男	漁業 (漁協長)	昭和41年3月 県立上対馬高等学校卒業 昭和42年5月～ 上県町役場 平成10年4月～ 上県町役場水産課長 平成20年3月 定年退職 平成22年6月～ 佐須奈漁業協同組合理事就任 平成28年6月～ 佐須奈漁業協同組合代表理事組合長就任 平成28年8月～ 対馬海区漁業調整委員就任 平成29年6月～ 長崎県漁業共済組合理事就任	12年	一本釣り漁業 曳縄漁業	佐須奈漁業協同組合	船津 博也	—	—	—	組合長就任前は上県町役場の水産課長を歴任し、定年退職後は漁船を購入。一本釣り、曳縄漁業、採介藻漁業を中心に水揚げし、佐須奈漁業協同組合の正組合員となる。豊富な行政経験を生かし、組合長就任後も資源管理や組合員の漁業経営の指導に尽力され、組合員と共に累積赤字の削減に貢献されました。 又、組合長会における沖底や大中型まき網漁業に係る代表委員として共同漁業権内及び権外の漁業調整にも実績十分であり、漁業調整委員に適任であると思われるので推薦いたします。
8	漁業者	二宮 昌彦	62	男	漁業 (漁協長)	昭和49年3月 私立博多高等学校卒業 平成9年3月～平成15年6月 厳原町漁業協同組合理事 平成13年6月～平成16年2月 厳原町議会議員 平成16年3月～平成17年5月 対馬市議会議員 平成21年6月～ 厳原町漁業協同組合代表理事組合長 平成21年6月～ (特非)長崎県水難救済所所長 平成22年5月～平成29年3月 長崎県漁船保険組合理事 平成29年4月～平成30年5月 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員 平成23年5月～ 長崎県海面利用対馬地区協議会会長 平成25年6月～令和元年9月 対馬南地区沿岸協力会会長 平成25年5月～平成26年9月(公財)海上保安協会常任幹事 平成26年9月～(公財)海上保安協会副支部長 平成26年4月～(公財)対馬栽培漁業振興公社理事 平成26年6月～ 宍岐・対馬シイラ漁実行組合組合長 平成28年3月～令和元年5月 対馬市広域水産業再生委員会会長 平成30年6月～ 長崎県信用漁業協同組合連合会理事	40年	中型(しいら濱) まき網漁業	厳原町漁業協同組合	二宮 昌彦	—	—	—	平成21年6月に厳原町漁業協同組合代表理事組合長に就任し、近年の水揚げ減少、磯焼け問題等で漁業経営が危惧される中、漁業経営の改善、指導に尽力を注ぎ、しいら濱まき網漁業にも従事する傍ら旋網問題にも積極的に取り組み漁業者のために対馬海域での規制などに携わっている。 更に、対馬市内で漁協初の直売所を開設し地域雇用も推進している。 今後、対馬漁民のためあらゆる漁業問題にも十分発揮できるものと考え、当漁協として海区漁業調整委員に推薦いたします。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況
 ○対馬海区漁業調整委員会

番号	区分	氏名	年齢	性別	職業	推薦を受けた者又は応募した者		推薦した者又は団体				推薦又は応募理由			
						経歴		漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名		職業	年齢	性別
						就業歴	主な漁業種類	就業歴	主な漁業種類						
9	漁業者	八島 康平	62	男	漁業 (漁協長)	昭和51年4月～昭和53年3月 長崎県立上対馬高等学校卒業 昭和53年4月～平成31年3月 長崎県漁運勤務(福岡事業部担当次長) 平成31年4月～令和2年6月 漁業従事 令和2年6月～ 上対馬町漁業協同組合代表理事組合長 令和2年7月～ 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員	1年	かご漁業	上対馬町漁業協同組合	八島 康平	—	—	—	昭和53年に長崎県漁連に入会し、以後41年間勤務。主に活、鮮魚事業で、市場の開拓、鮮度保持の指導、規格の統一等を訴え漁業者の所得向上に寄与。平成31年3月に退職後は、地元上対馬町漁協組合員となり、一本釣りやかご漁業を主に営んでいる。令和2年6月に組合長に就任し、近年の資源減少で漁家経営が危惧される中、多くの漁業者と接し資源管理や漁業経営の改善、指導に携わっている。 その豊富な経験を、対馬漁業の今後のために十分発揮できるものと考え、当会として海区漁業調整委員に推薦致します。	
10	学経	阿比留 和秀	64	男	団体職員 (漁協長)	昭和50年3月 長崎県立対馬高等学校卒業 昭和50年3月～昭和55年2月 (株)梅澤 名古屋支店入社及び退社 昭和55年8月～ 美津島町西海漁業協同組合入組 平成17年1月～ 同上 参事就任 平成17年6月～ 同上 員外理事就任 平成27年3月～ 同上 退職 平成27年6月～ 同上 代表理事組合長就任 平成28年6月～ 長崎県漁業信用基金協会理事就任 平成28年8月～ 対馬海区漁業調整委員会委員就任	—	—	美津島町西海漁業協同組合	阿比留 和秀	—	—	—	被推薦者は昭和55年8月より40年以上に渡り美津島町西海漁協の職員及び代表理事組合長として勤務しております。また、10年間漁協の参事として組合員の信頼もあつた模様です。また、美津島町西海漁協は魚類養殖をはじめ貝類養殖も盛んなため漁業に関する知識も豊富であり、組合員に対しても資源管理や漁業経営の指導も熱心におこなっていることから、漁業調整委員として適任であると認められるため推薦いたします。	
11	漁業者	二宮 昌彦	62	男	漁業 (漁協長)	昭和49年3月 私立博多高等学校卒業 平成9年3月～平成15年6月 厳原町漁業協同組合理事 平成13年6月～平成16年2月 厳原町議会議員 平成16年3月～平成17年5月 対馬市議会議員 平成21年6月～ 厳原町漁業協同組合代表理事組合長 平成21年6月～ (特非)長崎県水難救済会会長 平成22年5月～平成29年3月 長崎県漁船保険組合理事 平成23年5月～ 長崎県海面利用対馬地区協議会会長 平成29年4月～平成30年5月 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員 平成25年6月～令和元年9月 対馬南地区沿岸協力会会長 平成25年5月～平成26年9月 (公財)海上保安協会常任幹事 平成26年9月～ (公財)海上保安協会副支部長 平成26年4月～ (公財)対馬栽培漁業振興公社理事 平成26年6月～ 香岐・対馬シイラ漬実行組合組合長 平成28年3月～令和元年5月 対馬市広域水産業再生委員会会長 平成30年6月～ 長崎県信用漁業協同組合連合会理事	40年	中型(しいら漬) まき網漁業	対馬市漁業協同組合長会	部原 政夫	—	—	—	二宮昌彦氏は、平成21年6月に厳原町漁業協同組合代表理事組合長に就任し、近年の水揚げ減少、磯焼け問題等で漁家経営が危惧される中、漁業経営の改善、指導に尽力を注ぎ又、しいら漬まき網漁業にも従事する傍ら旋網問題にも積極的に取組み漁業者のために対馬海域での規制などに携わっている。 更に、対馬市内で漁協初の直売所を開設し地域雇用も推進している。 今後、対馬漁民のためあらゆる漁業問題にも十分発揮できるものと考え、当会として海区漁業調整委員に推薦いたします。	
12	漁業者	植木 忠勝	66	男	漁業 (漁協長)	昭和45年3月 難知中学校卒業 昭和45年4月～ 家業の漁業を継ぐ 昭和62年7月～平成2年6月 美津島町高浜漁協理事に就任 平成17年6月～平成20年6月 美津島町高浜漁協副組合長に就任 平成29年6月～令和2年6月 美津島町高浜漁協理事に就任 令和2年6月～ 美津島町高浜漁協代表理事組合長に就任 令和2年6月～ 対馬海区延縄、一本釣り漁業連絡協議会会長 昭和53年4月～平成5年3月 美津島町高浜漁協青年部部長 令和2年6月～ 長崎県JF共済推進本部運営委員	50年	はえ縄漁業 一本釣り漁業 いかづり漁業	対馬市漁業協同組合長会	部原 政夫	—	—	—	植木忠勝氏は49年間漁業に従事し、美津島町高浜漁協の高浜船団の船団長として長年船団の中心となり、コンテナによる活魚の出荷、短番生簀の出荷調整など取組み、漁家経営の向上に貢献し、海区の漁業状況も理解し、組合員の信頼も厚く指導力も優れています。 青年部長として、活動実績発表大会においては長崎県で優勝、全国大会では水産庁長官賞を受賞の経験もあります。 また、美津島町高浜漁業協同組合では、理事、副組合長を経験し、令和2年6月から代表理事組合長として就任し、これからの対馬の漁業の発展に貢献する事と思います。 以上のことから、対馬海区の漁業調整委員に推薦するものです。	

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況
 ○対馬海区漁業調整委員会

番号	区分	氏名	年齢	性別	職業	推薦を受けた者又は応募した者		推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
						経歴		漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
						就業歴	主な漁業種類	就業歴	主な漁業種類						
13	漁業者	水主川 澄男	68	男	漁業 (漁協長)	昭和42年3月 美津島町立養和中学校卒業 昭和42年4月～ 漁業に従事 昭和48年6月～昭和58年5月 第11吉福丸新造 独立 船主船長 昭和58年6月～ 第15吉丸購入 船主船長 平成9年12月～ 第21吉福丸 新造 船主船長 平成22年1月 美津島町漁協理事就任 平成28年7月～ 美津島町漁協代表理事組合長就任 平成28年8月～ 対馬海区漁業調整委員会委員 平成29年6月～平成30年6月 長崎県信漁連代表監事 平成29年4月～平成30年5月 長崎県漁船保険組合役員 平成30年6月～ 日本漁船保険組合総代 平成28年7月～ 長崎県いか釣り協議会監事2期目 平成28年7月～ 長崎県かん水養殖協会副会長2期目 平成29年6月～ 長崎県国境離島・外洋離島連絡協議会幹事2期目 平成28年10月～ 対馬いか釣り協議会顧問 平成30年7月～令和元年9月 対馬南地区沿岸協力会監事（南警察署） 令和元年9月～ 対馬南地区沿岸協力会会長（南警察署） 令和元年5月～ 対馬広域水産業再生委員会会長 平成28年7月～ 対馬栽培漁業振興公社理事 平成30年9月～ 公益財団法人海上保安協会庶原支部監事 令和2年7月～ 対馬市漁業協同組合会長副会長	53年	いか一本釣り漁業	対馬市漁業協同組合長会	部原 政夫	—	—	—	水主川氏は資源管理活動や漁業経営改善等にも積極的に取り組み、地元漁業者へ指導を行っている。漁場利用に関する紛争の防止や解決策にも尽力し、平成28年から漁業調整委員としての実績もあることから当会として推薦いたします。	
14	漁業者	部原 政夫	84	男	漁業 (漁協長)	昭和27年4月～昭和31年3月 長崎県立対馬高等学校卒業 昭和31年4月～昭和49年4月 鹿見漁業協同組合に就職 昭和49年5月～昭和54年11月 鹿見漁業協同組合長に就任・漁協合併のため 昭和54年11月～ 上県町漁業協同組合長に就任（鹿見・仁田漁協合併） 平成6年6月～平成10年6月 （株）長崎魚市取締役就任2期 平成6年6月～平成13年6月 長崎県漁業協同組合連合会会長に就任2期 平成11年6月～平成14年12月 全国共済水産業協同組合連合会会長に就任 平成16年6月～ 対馬栽培漁業振興公社副理事長 現在に至る 平成22年11月～ 対馬市海洋保護区設定推進協議会会長 現在に至る 平成23年7月～ 対馬海区漁業調整委員会会長 現在に至る 平成27年7月～ 対馬市漁業協同組合会長5期 現在に至る 平成30年6月～ 長崎県漁業協同組合連合会理事に就任 現在に至る	64年	タイ養殖 一本釣り	対馬市漁業協同組合長会	部原 政夫	—	—	—	部原氏は、昭和31年に漁協職員として従事、昭和49年から現在まで組合長に就任するなど長きに亘り組合員と組合を指導する立場として活躍、組合員や地元住民から厚い信頼を得ている。 また、県漁連会長や全国共水連会長を歴任するなど広く水産業発展のためにもその手腕を発揮してきた。 さらに、これまで22年間に漁業調整委員も歴任しており豊富な経験を生かした公正公平な審議運営に定評がある。忙しい公務を縫って漁業活動を精力的に行うなど、現役漁業者としても活躍されている氏を当会として推薦するものである。	
15	漁業者	豊田 功己	68	男	漁業 (漁協長)	昭和52年4月～昭和56年1月 福岡県私立筑紫工業高校中退 昭和56年2月～ 自営業（漁業） 平成14年6月～平成22年6月 伊奈漁業協同組合理事 平成22年6月～ 伊奈漁業協同組合代表理事組合長 平成30年7月～ 豊田水産合同会社代表社員 平成30年6月～ 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員	39年	定置漁業	対馬市漁業協同組合長会	部原 政夫	—	—	—	豊田功己氏は、家業である定置網漁業に昭和56年から従事し、現在は代表社員として安定した経営を続けており、長年にわたる漁業の経験を活かした鮮度保持の技術等は勿論の事、1ターン等新規就業者の受け入れや、観光定置の導入など新しい事柄に積極的に取り組む姿勢を持ち合わせている。 また、伊奈漁業協同組合代表理事組合長を平成22年より務めており、漁協の安定経営にも尽力している。 昨今の磯枯れや海洋漂着ゴミ等の問題にも関心が高く、国や県等に問い合わせをするなど一個人としても積極的に行動する等、漁業調整委員として資質を備えており、本会として推薦するものである。	
16	漁業者	船津 博也	73	男	漁業 (漁協長)	昭和41年3月 県立上対馬高等学校卒業 昭和42年5月～ 上県町役場 平成10年4月～ 上県町役場水産課長 平成20年3月 定年退職 平成22年6月～ 佐須奈漁業協同組合理事就任 平成28年6月～ 佐須奈漁業協同組合代表理事組合長就任 平成28年8月～ 対馬海区漁業調整委員会就任 平成29年6月～ 長崎県漁業共済組合理事就任	12年	一本釣り漁業 曳縄漁業	対馬市漁業協同組合長会	部原 政夫	—	—	—	組合長就任前は上県町役場の水産課長を歴任し、定年退職後は漁船を購入、一本釣り、曳縄漁業、採介漁業を中心に水揚げし、佐須奈漁業協同組合の正組合員となる。豊富な行政経験を生かし、組合長就任後も資源管理や組合員の漁業経営の指導に尽力され、組合員と共に累積赤字の削減に貢献されました。 又、組合長会における沖原や大中型まき網漁業に係る代表委員として共同漁業種内及び種外の漁業調整にも実績十分であり、漁業調整委員に適任であると思われまので推薦いたします。	

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況
 ○対馬海区漁業調整委員会

番号	区分	氏名	年齢	性別	職業	推薦を受けた者又は応募した者		推薦した者又は団体				推薦又は応募理由			
						経歴		漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名		職業	年齢	性別
						就業歴	主な漁業種類	就業歴	主な漁業種類						
17	漁業者	八島 康平	62	男	漁業 (漁協長)	昭和51年4月～昭和53年3月 長崎県立上対馬高等学校卒業 昭和53年4月～平成31年3月 長崎県漁連勤務(福岡事業部担当次長) 平成31年4月～令和2年6月 漁業従事 令和2年6月～ 上対馬町漁業協同組合代表理事組合長 令和2年7月～ 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員	1年	かご漁業	対馬市漁業協同組合長会	部原 政夫	—	—	—	昭和53年に長崎県漁連に入会し、以後41年間勤務。主に活、鮮魚事業で、市場の開拓、鮮度保持の指導、規格の統一等を訴え漁業者の所得向上に寄与。平成31年3月に退職後は、地元上対馬町漁協組合員となり、一本釣りやカゴ漁業を主に営んでいる。令和2年6月に組合長に就任し、近年の資源減少で漁家経営が危惧される中、多くの漁業者と接し資源管理や漁業経営の改善、指導に携わっている。 その豊富な経験を、対馬漁業の今後のために十分発揮できるものと考え、当会として海区漁業調整委員に推薦致します。	
18	学経	阿比留 和秀	64	男	団体職員 (漁協長)	昭和50年3月 長崎県立対馬高等学校卒業 昭和50年3月～昭和55年2月 (株)梅澤 名古屋支店入社及び退社 昭和55年8月～ 美津島町西海漁業協同組合 入組 平成17年1月～ 同上 参事就任 平成17年6月～ 同上 員外理事就任 平成17年3月～ 同上 退職 平成27年6月～ 同上 代表理事組合長就任 平成28年6月～ 長崎県漁業信用基金協会理事就任 平成28年8月～ 対馬海区漁業調整委員会委員就任	—	—	対馬市漁業協同組合長会	部原 政夫	—	—	—	被推薦者は昭和55年8月より40年以上に渡り美津島町西海漁協の職員及び代表理事組合長として勤務しております。また、10年間漁協の参事として組合員の信頼もあつた模様です。また、美津島町西海漁協は魚類養殖をはじめ貝類養殖も盛んなため漁業に関する知識も豊富であり、組合員に対しても資源管理や漁業経営の指導も熱心におこなっていることから、漁業調整委員として適任であると認められるため推薦いたします。	
19	学経	中嶋 武美	72	男	団体職員 (漁協長)	昭和42年4月～昭和46年3月 福岡電子工業大学電子工学部電子工学科(工学博士号取得) 昭和47年9月～平成9年7月 長崎県信用漁業協同組合連合会(25年間)組合員育成指導 平成3年7月～平成11年6月 同上 上対馬出張所所長就任 平成3年7月～平成11年6月 長崎県経営指導協会から経営指導員を委嘱 平成11年7月～ 旧網島漁業協同組合組合員取得～現豊玉町漁協組合員 平成25年7月～平成28年6月 豊玉町漁業協同組合代表監事 平成28年7月～平成31年2月 豊玉町漁業協同組合筆頭理事 平成31年3月～ 豊玉町漁業協同組合代表理事組合長 平成31年3月～ 山口県沖合底びき網漁業との交渉委員 令和元年7月～ 長崎県漁業協同組合連合会監事 令和元年7月～ 長崎県いか約漁業協議会役員 令和2年1月～ 対馬市地域委員会(水産業成長産業化沿岸地域創出事業)副会長 平成31年3月～ 対馬市漁業協同組合長会監事 平成31年3月～ 対馬市いか約漁業連絡協議会顧問 令和元年8月～ 対馬海区アラ縄漁業部会会長	—	—	対馬市漁業協同組合長会	部原 政夫	—	—	—	昭和47年、県信漁連に入会後、協同組合法、水協法、経営学等を得、平成3年県経営指導協会から経営指導員を委託され、県全域漁協の経営や組合員婦人部の育成指導に取り組みなど知識や指導経験等は豊富である。平成11年信漁連退職後は豊玉町漁協組合員となり、イカ釣、採介藻等の漁業経営を始め、豊玉町漁協役員2期(6年)を経て、平成31年に組合長に就任。県漁連監事を始め、漁業関係10協議団体、地域関係7協議団体の役員を歴任する等、地域振興や教育指導面においても顕著なものがある。 当会としても、知識、経験、指導力等を総合的に評価した結果、学識経験委員として適任であると認め推薦致します。	
20	学経	神田 満男	69	男	団体職員 (漁協長)	昭和44年3月 長崎県立対馬高等学校卒業 昭和47年12月 上対馬町南部漁業協同組合に就職(勤務) 昭和56年4月～平成18年3月 同 参事として勤務 平成18年4月～平成19年3月 同 参事として勤務(信用担当理事業務) 平成19年4月 上対馬町琴漁協と上対馬町南部漁協新設合併 平成19年4月～平成23年3月 上対馬南漁業協同組合参事として勤務 平成23年6月～平成29年6月 上対馬南漁業協同組合筆頭理事 平成29年6月～ 上対馬南漁業協同組合代表理事組合長 平成29年6月～ 公益財団法人 対馬栽培漁業振興公社理事 平成29年6月～ 一般財団法人 対馬地域商社評議員 平成30年6月～ 長崎県信用漁業協同組合連合会監事	—	—	対馬市漁業協同組合長会	部原 政夫	—	—	—	神田氏は、昭和47年から現在まで48年間協同組合一筋で、その間、漁協参事として30年、筆頭理事として6年、代表理事2期と要職を歴任し、水協法・漁業法は基より長崎県漁業調整規則等水産に関する法令に精通し、組合員の指導に当たっています。 又、平成19年の上対馬町琴漁協と上対馬町南部漁協の漁協合併においても、中心的立場から、漁協合併を推進するなど、強力なリーダーシップを発揮し組合員の理解を得ています。 さらに、小中学校のPTA会長、区長、上対馬地区民生委員を歴任するなど、地域活動にも積極的に取り組んでおり、漁業調整委員にふさわしい人物であることから、当会として推薦するものです。	

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況
 ○対馬海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
21	中立	吉田 栄	72	男	無職	昭和41年3月 長崎県立諫早農業高等学校卒業 昭和41年4月 豊玉町役場採用勤務 昭和41年4月～昭和42年3月 長崎県庁水産施設課へ技術研修で派遣 昭和42年4月～昭和55年9月 水産課技術吏員 昭和55年10月～昭和58年3月 土木課技術吏員 昭和58年4月～昭和61年3月 総務課企画課 昭和61年4月～昭和63年3月 豊玉町振興公社派遣 昭和63年4月～平成8年3月 産業振興課課長補佐 平成8年4月～平成14年4月 産業振興課長、総務課長 平成14年4月～平成16年3月 豊玉町助役 平成16年3月 町村合併にて退職 平成16年7月～平成28年3月 基礎地盤コンサルタンツ（株）対馬事務所長	—	—	上県町漁業協同組合	部原 政夫	—	—	—	吉田氏は昭和41年4月豊玉町役場に採用。豊玉町役場から長崎県庁水産施設課技術研修で派遣され、昭和63年4月から産業振興課課長補佐、平成8年4月から同振興課長、平成14年4月から豊玉町助役に就任。 平成16年3月町村合併により退職し、豊玉町役場時代は漁港整備や漁礁の整備等水産振興に力を入れ、漁業調整委員に適任であると思われしますので推薦致します。
22	中立	川本 治源	67	男	無職	昭和44年4月～昭和47年3月 県立諫早農業高等学校 昭和47年4月～昭和49年3月 県立諫早農業大学校 昭和49年6月～平成16年2月 上県町役場 平成16年3月～平成26年3月 対馬市役所 平成28年9月～ 対馬海区漁業調整委員会委員	—	—	上県町漁業協同組合	部原 政夫	—	—	—	川本氏はS49年6月上県町役場就職。 平成15年3月水産課長、平成21年2月水産部長と現職時代は漁業経営指導やまき網など漁業調整をし、特に対馬海洋保護区設定には力を入れ確資源の結果も出ているので漁業調整委員に適任者であると思われしますので推薦致します。
23	漁業者	植木 忠勝	66	男	漁業 (漁協長)	昭和45年3月 雑知中学校卒業 昭和45年4月～ 家業の漁業を継ぐ 昭和62年7月～平成2年6月 美津島町高浜漁協理事に就任 平成17年6月～平成20年6月 美津島町高浜漁協副組合長に就任 平成29年6月～令和2年6月 美津島町高浜漁協理事に就任 令和2年6月～ 美津島町高浜漁協代表理事組合長に就任 令和2年6月～ 対馬海区延縄・一本釣り漁業連絡協議会会長 昭和53年4月～平成5年3月 美津島町高浜漁協青年部部长 令和2年6月～ 長崎県JF共済推進本部運営委員 令和2年7月～ 対馬市海洋保護区設定推進委員 令和2年7月～ 対馬市南地区沿岸協会の委員 令和2年7月～ 対馬排出油等防除協議会の委員	50年	はえ縄漁業 一本釣り漁業 いかつり漁業	美津島町高浜漁業協同組合	植木 忠勝	—	—	—	植木忠勝氏は49年間漁業に従事し、美津島町高浜漁協の高浜船団の船団長として長年船団の中心となり、コンテナによる活魚の出荷、短善生簀の出荷調整など取組み、漁家経営の向上に貢献し、海区の漁業状況も理解し、組合員の信頼も厚く指導力も優れています。また、令和2年11月、高浜船団がながさき水産大賞を受賞した。 青年部長として、活動実績発表大会においては長崎県で優勝、全国大会では水産庁長官賞を受賞の経験もあります。 また、美津島町高浜漁業協同組合では、理事、副組合長を経験し、令和2年6月から代表理事組合長として就任し、これからの対馬の漁業の発展に貢献する事と思えます。 以上のことから、対馬海区の漁業調整委員に推薦するものです。